

とび

●実技指導テーマ

技能五輪競技大会の課題を使った実技指導

ものづくりマスターの派遣要請の背景

本校が「とび」の授業を始めたのは、ここ4年ぐらいのことです。資格を取得することは、専門校といわれる学校の核になります。よりレベルの高い、効果のある資格を取るとなると、学校の力だけでは無理です。建築を担当している職員は6人います。そのうち4人が技能士を取得していて、職員も生徒と一緒に勉強するというのも特徴かもしれません。技能士を取得していない職員は、生徒と同じように資格取得に向けてチャレンジしています。これは、逃げられない状態です。職員は生徒と同じように汗をかきながら指導しています。

●派遣先



埼玉県立熊谷工業高等学校

〒360-0832 埼玉県熊谷市小島820番地

派遣先概要

学 校 長：楡居勝彦

創 立・沿 革：大正9年 熊谷商業学校

昭和13年 埼玉県熊谷商業学校と改称

昭和23年 熊谷商工高等学校

昭和41年 熊谷商工高校から分離独立

共 学・別 学：男女共学

設 置 学 科：建築科、土木科、電気科、機械科、情報技術科

全 校 生 徒 数：700名

指導期間/回数	平成25年9月8日から11月16日 この間に10回実施
指導実施場所	埼玉県立熊谷工業高等学校
受講者数・指導職種	延べ4名(うち建築科3年生3名、 建築科2年生1名)、とび

●カリキュラム

日数	日時	指導内容
1	9月8日(日)	技能五輪競技課題「材料の拾い出し、墨付け」
2	9月15日(日)	同「敷板の設置及びベースプレートの取付け」
3	9月21日(土)	同「根がらみ、柱、つか等 基礎部分の設置(高床部分)」
4	9月28日(土)	同「ステージの取付け、階段部分の設置(高床部分)」
5	10月5日(土)	同「柱、梁、軒部分の設置(壁の部分)」
6	10月16日(水)	同「もや、つか部分の設置(小屋組みの部分)」
7	10月20日(日)	同「屋根トラスの設置(小屋組みの部分)」
8	11月5日(火)	同「下屋部分のステージの設置(片流れの部分)」
9	11月9日(土)	同「下屋部分、たる木の設置(片流れの部分)」
10	11月16日(土)	同「総合的な取り合の調整」



👑ものづくりマスター

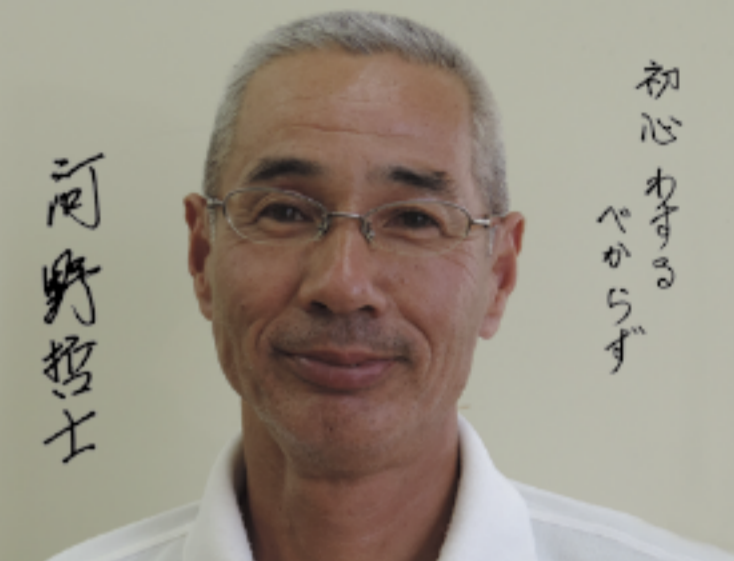
里見正一(さとみ しょういち)

昭和25年11月8日生まれ。昭和54年度 1級技能士(職種「とび」・とび作業)取得。
平成25年7月10日、「とび」職種でものづくりマスターに認定。

河野哲士(かわの てつし)

昭和34年10月6日生まれ。平成6年度 1級技能士(職種「とび」・とび作業)取得。平成8年職業訓練指導員免許取得。平成25年7月10日、「とび」職種でものづくりマスターに認定。

里見正一



河野哲士

初心を
わする
べからず

●指導ニーズの把握方法

この学校の先生から「里見さん、言葉は丁寧ではないほうがいいよ。普段どおりをお願いします」と言われました。本物のプロとして、きちんと指導してほしいということ、先生は要求されたのかもしれませんが。(里見さん)

中央職業能力開発協会が作成した「技能競技大会を活用した人材育成の取組マニュアル(とび職種篇)」に基づいて、組み方作業の手順を教えています。このマニュアルをベースとしてできたことは、大変良かったと思います。(河野さん)

教えながらも教えられ、 初心に帰って基本を指導



工夫したことは？

回数を重ねていけば寸法も分かってくるし、スピードも出てきます。技能五輪でもたくさんの部材を全部組み上げていきます。最初は全然分からないけど、回数を重ねてくると段々と分かってきます。(里見さん)

作業手順どおりだと、取ったり外したりと、段取りとしてはまだるっこしい感じがしても、安全性を考えると、安全確実にできる方法で教えたほうが間違いないという感じでやってきました。(河野さん)

苦労したことは？

生徒が私の顔を見て、「この野郎、うるせえな」という顔をしなければいいなと思っていました。生徒に嫌われないようにするというのもなかなか容易ではないです。(里見さん)

全然何も分からないところから教えるというのは一番苦労します。生徒さんが分からないときは、本当に手取り足取り、一緒になって汗を流すのが一番です。(河野さん)

特に印象に残ったことは？

熊谷工業高等学校は、皆が真面目で、真面目な生徒を指導するというのは、こちらとしてもやりがいがあるし、楽です。一所懸命に聞いて、やろうとする、意欲のある生徒が本当に多いです。(里見さん)

去年教えた女子生徒が、技能五輪全国大会に挑戦したことが印象に残っています。女子が「とび」職種で技能五輪に参加したのは初めてと聞きました。女子高生でよくチャレンジしたと感心します。(河野さん)

👑今後 反映させたい ことは？

去年、講習を受けた生徒数に比べると、今年は人数的には倍以上です。そうすると、受講する側も競争になるのではないかと思います。この競争心と協調性をバランスよく持たせていこうと思います。(里見さん)

生徒たちの探究心、前向きな姿勢を伸ばせる状況に持っていければよいと思います。自分が辛い中で頑張ってきたことは忘れないし、サポート役がいて、一緒に組んだという経験があると、余計に忘れないものですから。(河野さん)

受入れ担当者の感想

●ものづくりマイスター制度を知ったきっかけ

埼玉県職業能力開発協会の県内の関係機関を集めた説明会において、制度の仕組みや内容を知ったことからスタートしました。技能五輪にチャレンジするに当たっては、踏み入れたことのない世界でしたから、一からご指導いただけてすごく助かりました。



吉野 博行さん

●ものづくりマイスター派遣導入に当たり、内部調整で苦労したことは？

学校教育の教育課程と、技能の習得を組み合わせようとすると、平日はなかなか時間が取れません。そこで休日に時間を作っているのですが、かなり疲れます。生徒の体調管理や、気持ちが乗る・乗らないの波をコントロールをしてあげるのは学校側の役目です。どう時間を取るかというのは、難しいところです。また、屋外での作業ですので、いつも天気と生徒の体調は気になります。

●ものづくりマイスター制度活用が一番のメリットは？

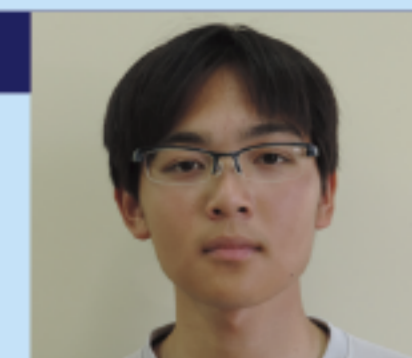
難しい問題が出たときにプロの方に相談できるので、答えを見つけやすくなって大変助かります。より高度な技能の習得のためには、プロの力が必要です。体格のいい子と、小柄の子が同じ時間の中で同じものをつくるとなると、日本人独特の、とび独特の動きがないと駄目です。また、外部から来ていただくというのは、すごく刺激になりますので、そういう部分では非常にメリットがあります。



受講者の感想

●受講の動機

ものづくりマイスターの方に直接指導していただけるのが、一番の強みです。昨年、女性の先輩が技能五輪に参加したのを見て、僕も技能五輪にチャレンジしたいと思っていたので、勉強になると思って受講しました。



勅使河原 翔さん

●スゴイと思ったことは？

ものづくりマイスターは、図面に載っていないようなことや、時間のさらなる短縮の方法を知っていることがスゴイと思いました。ねじを締めるラチェットを使う速さが、ものすごく速いのでびっくりしました。検定2級の課題から上級になると水平器は使えないので、自分の目や感覚で水平を見ます。クランプを留めながらも、ものづくりマイスターは水平を見てしまう。離れて見なくても分かってしまう(笑)。スゴイです。

●特に参考になったことは？

最初の頃は水平を見る場合、周りの建物の水平部分を見てやっていましたが、段々と慣れてきて、教わったことを参考にして、自分の感覚として覚えるようにしています。水平器のようにピッタリとはいきませんが、ある程度感覚だけで水平は取れるようになりました。自分なりに感覚を研ぎ澄ましていくと、うまくいくという感じです。これもものづくりマイスターさんのおかげです。



👑「ものづくりマイスター制度」活用のアドバイス

受け入れ担当者より

本校としては、資格取得として技能検定3級から始めていますが、ものづくりマイスター制度を利用させていただいて、そのステップアップとして技能五輪にも出場することができました。しかし、技能五輪が一区切りとなって、そこで終わってしまいます。そこから次に進めるようなことが制度上整備されると、もっと先につながるのではないかと思います。

受講者より

ものづくりマイスターの方が学校に来てくれる日をもっと増やしてほしいです。始めた頃は体力的にもきつかったのですが、今は体力がついたので大丈夫です。ものづくりマイスターの方が来ていなかったら、技能検定3級も受かっていなかったかもしれない。授業だけだと時間も足りなくて、難しかったと思います。

ものづくりマイスターより

ものづくりマイスターは、仕事を休んで顔を出している場合が多いため、次の日程が変更になると、なかなか都合が付きません。ものづくりマイスターの仲間をもう少し増やすことが課題だと思います。(里見さん)

職業訓練指導員の免許を取るために講習を受けている人も多いため、そういう人にもものづくりマイスターとともに参加してもらい、人数も増えれば活動状況も変わると思います。(河野さん)

コーナー担当者より

ものづくりマイスターの所属する(社)埼玉県鷹・土木工業会の皆さんは、非常に協力的で積極的です。ですから、それが学校にも生徒にもきちんと伝わっていて、受ける側も真剣に取り組んでいます。その結果、受講した生徒は、技能検定などで優秀な成績で合格しています。